



中田小

学校教育目標

さわやか笑顔中田っ子 思い合い ひびきあい
共に生きる力を育てます。

令和3年6月30日

中田小ホームページ

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nakada/>

希望をもって 笑顔でつなごう 未来へ
おめでとう 中田小 70周年

10年ひと昔・・・

そしてひとミライの10年後は・・・

副校長 島田 靖之

問題です。今から10年前の2011年の出来事や流行語は何だったか覚えていますか？

10年前の出来事としては、東日本大震災がありました。流行語としては、「なでしこジャパン」「絆」「スマホ」などがノミネートされていました。東日本大震災をきっかけに、学校でも防災について改めて考え、防災訓練も実際に想定したものになるように毎年計画を改善していっています。10年前に流行語となった「スマホ」も今や当たり前のツールとなり、学校現場でもGIGAスクール構想により、児童一人一台のタブレット端末が配付されました。まずは、“端末に慣れる”というところからのスタートとなります。子ども達の活用する力や知識の吸収力はすごいので、知識を得るツールとしてだけでなく、今後も様々な活用方法を見出してくれるのではないのでしょうか。

さて、中田小学校の10年前というと、「創立60周年記念」の年でした。「60周年記念誌」から当時の子どもたちの様子を見てみました。“わたしのたからもの”は「家族」「友だち」、 “中田小じまん”は「しばふ」「自然」、 “こんな学校にしたい”は「みんなが仲良く」「楽しく笑顔」、 “こんなまちにしたい”は、「安全で信頼」「協力できるいい町」などの声が聞かれました。「友だちと仲良く、安心して暮らしたい」という子ども達の思いは、今もやはり同じではないのでしょうか。新型コロナウイルス等まん延防止措置が続き、頭を寄せ合っただけの観察、集団で討論し意見を練り上げる学習にはひと工夫が必要です。しかし、仲良くしたいや相手を思いやる（信頼できる）気持ちが育むように、私たちも、あたたかい言葉がけ（学校では、ふわふわことばと言ったりします）をしていきます。

今年は「創立70周年」・・・今から10年後は「80周年」、いったいどんなことが“当たり前”になり、どんな出来事があるのかとても楽しみです。10年後には、“中田のじまん”に「安心」「笑顔」「仲がいい」がノミネートされるように、保護者や地域の皆様と一緒に、子どもたちを育てていければと思います。これからも、中田小学校の教育活動にご理解、ご協力をお願いいたします。みなさんと、あたたかい言葉がけから、あたたかい学校、あたたかい地域を継続していきましょう。